

荒木 勝啓 先生 略歴／研究業績一覧

略 歴

昭和25年1月29日生まれ

学歴

昭和48年3月 早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業

昭和50年3月 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了

昭和56年3月 早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学(博士候補資格取得)

学位

経済学学士(早稲田大学)、昭和48年

経済学修士(早稲田大学)、昭和50年

学会

日本経済学会会員

職歴

昭和48年6月～昭和50年3月 早稲田大学教育学部時間制副手

昭和53年4月～昭和56年3月 早稲田大学教育学部時間制副手

昭和56年4月～昭和60年3月 駒澤大学経済学部経済学科専任講師

昭和60年4月～平成9年3月 駒澤大学経済学部経済学科助教授

平成9年4月～ 駒澤大学経済学部経済学科教授

平成10年4月～ 駒澤大学大学院経済学研究科経済学専攻修士課程担当

平成17年4月～ 駒澤大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程担当

平成23年4月～平成25年3月 駒澤大学大学院経済学研究科委員長

平成27年4月～平成29年3月 駒澤大学大学院経済学研究科委員長

国外研究員

昭和62年5月～昭和62年9月 国外研究員(ケンブリッジ大学)

研究業績

著書

『国民所得と経済政策』(共著, 第7章) 春秋社, 1976年.

論文

「不均衡の累積と価格・数量調整」(共著) 早稲田大学『学術研究』第27号, 1978年.

「進み変数を持つ汎関数の最大化必要条件と経済的意味」 早稲田大学経済学研究科『経済学研究年報』第18号, 1979年.

「懐妊期間を持つマクロ経済モデルの動学的特性」(共著) 早稲田大学『学術研究』第28号 1979年.

「非線形化されたカレツキーモデル」(共著) 早稲田大学『学術研究』第29号, 1980年.

「高度成長期における日本の工業の付加価値構造の変動」駒澤大学『経済学論集』第13巻第4号, 1982年.

「レビューアーティクル『近代経済学の反省』を読んで」『経済評論』第33号第6巻 日本評論社, 1984年.

「『一般均衡』通説の誤り-ケインズ労働供給関数について--」『経済セミナー』No. 358 日本評論社, 1984年.

「ケインズ『一般理論』の因果性-同時決定論への反論」『経済セミナー』No. 372 日本評論社, 1986年.

『エコノミックス』(共著) 成蹊堂, 1988年.

「Extend (EX・TD) による経済シミュレーション第1回」駒澤大学『経済学論集』第26巻 第1号, 1994年.

「Extend (EX・TD) による経済シミュレーション第2回」駒澤大学『経済学論集』第26巻 第2号, 1994年.

「Extend (EX・TD) による経済シミュレーション第3回」駒澤大学『経済学論集』第26巻 第3号, 1994年.

「タイムラグモデルにおけるカオス」 駒澤大学『経済学論集』第24巻第4号, 1994年.

「Extend (EX・TD) による経済シミュレーション第4回」 駒澤大学『経済学論集』第27巻 第3号, 1995年.

「Extend (EX・TD) による経済シミュレーション第5回」 駒澤大学『経済学論集』第27巻 第4号, 1995年.

‘Chaotic Fluctuations in Productivity Improving Investment’, (refereed) in International Conference Dynamics and Chaos, Vol. 1, World Scientific, 1995.

『EX・TDによるシミュレーション入門』(単著) 白桃書房, 1996年.

『現代経済学テキスト』(伊達邦春編, 第3章(i)) 中央経済社, 1997年.

「利率の無限次元性に起因する整合性問題」 駒澤大学『経済学論集』第36巻 第1号, 2004年.

「利子と時間--Immunizationの多次元化問題を通じての考察(1)」 駒澤大学『経済学論集』第36巻 第4号, 2005年.

「為替相場予測におけるFFTとAR(自己回帰)の有効性」(共著) 駒澤大学『経済学論集』第46巻 第4号, 2015年.

「非線形時系列予測の最適化」駒澤大学『経済学論集』第47巻 第3号, 2016年.

「日経平均への最適化非線形予測の適用」駒澤大学『経済学論集』第47巻 第4号, 2016年.

「AI手法(ガウス過程)を用いた予測-理論篇」駒澤大学『経済学論集』第50巻 第2号, 2019年.

「AI手法(ガウス過程)を用いた予測-数値篇」駒澤大学『経済学論集』第50巻 第3号, 2019年.

「長短期記憶型ニューラルネットワーク:LSTMによる時系列予測から再考される「予測は可能かそしてAIは人間とどこが違うか」駒澤大学論集 第51号第2号, 2020年3月予定.

「LSTMによる経済時系列予測の多変数化」駒澤大学論集 第51号第3号, 2020年3月予定.